

鐘の音

さいたま市男女共同参画推進センター
パートナーシップさいたま
広報誌vol.16

kane-no-ne

2008.11

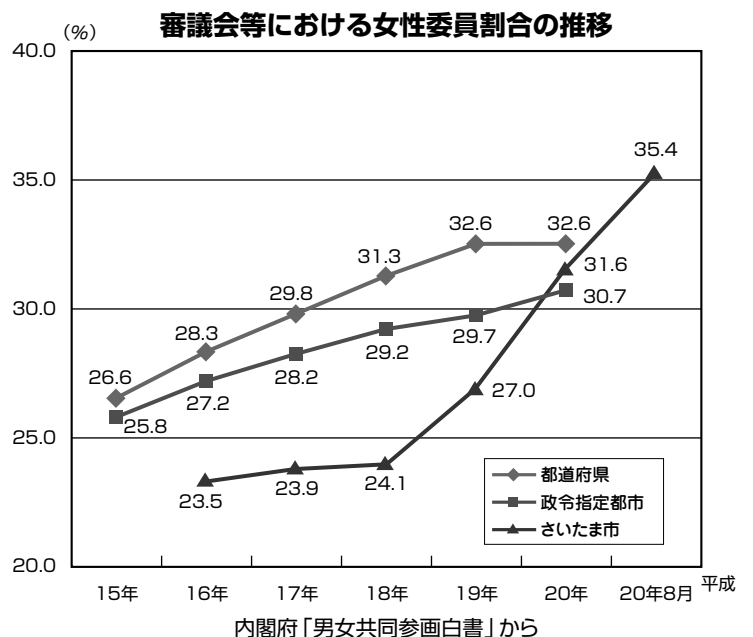
特集	第8回 ^{ひと} 女・ ^{ひと} 男フェスタさいたま	2,3
	「輝こう! 私らしく、あなたらしく」	
	● 男女共同参画週間記念講演会	3
	● 『幼児をもつ母親のための講座』を振り返って	4
	● ただいま活動中 NPO法人「生涯学習コーディネート協会」	
	● 女性の悩み相談 相談室から	5
	● 男女共同参画のまちづくりプランについて市民意見を募集しています	
	● Book Navi 図書のご案内	
	● 施設・相談のご案内 / ほっとたいむ	6

コラム 数字 35.4

この数字は、さいたま市の審議会等における女性委員の割合です。(平成20年8月1日現在)

さいたま市では、平成16年4月に策定した「男女共同参画のまちづくりプラン」の中で審議会等における女性委員の割合の目標を35%とし、市全体で取り組みました。その結果、策定時に23.5%だった女性割合は、プランの最終年度に目標を達成することができました。

現在、政策・方針決定の場において女性の割合をより増やしていくことが求められています。さいたま市は男女共同参画社会の実現に向け、これからも取り組んでまいります。



第8回

ひと ひと

女・男フェスタさいたま

～輝こう! 私らしく、あなたらしく～

開催日

平成21年1月10日(土)・11日(日)

開催場所

シーノ大宮センタープラザ 9階・10階

ひと ひと

「女・男フェスタさいたま」は今年で8回目を迎えます。

さいたま市男女共同参画推進団体連絡協議会とさいたま市が共同開催するこのフェスタでは、市内で男女共同参画の活動をしている団体の交流や日頃の活動の成果の発表の場として展示、ワークショップ、ステージ発表が行われ、併せて講演会や映画の上映会も催されます。

第8回のテーマは、

「輝こう! 私らしく、あなたらしく」です。

一人一人が輝くためのヒントを「女・男フェスタさいたま」で見つけませんか!



ひと ひと

▲ 第7回「女・男フェスタさいたま」の様子

展 示

1月10日(土)・11日(日)

9階 第1・第2レクリエーションホールにて日頃の活動の成果を発表します

ウイズ・ユー岩槻、浦和育友会、浦和民主商工会婦人部、大宮民主商工会婦人部、コーペル、さいたま浦和地区更生保護女性会、埼玉骨髄バンク推進連絡会、さいたま市学童保育の会、さいたま市地域婦人会、さいたま中央地区更生保護女性会、さきたまフレンズ、(社)さいたま市シルバー人材センター、生涯学習コーディネート協会、女と男いきいきネット、フィレンツェフラワーサークル、洋彩の会、LA CUCINA PICCOLA

■ 1月10日(土)

ステージ発表

10階多目的ホール

せせらぎコンサート市民企画委員会(12:00～12:50)
開会式(13:00～13:20)
大宮混声合唱団(13:20～13:50)

ワークショップ

9階

浦和育友会(11:00～13:00 第1学習室)
ヒマラヤ・シルク(11:00～13:00 第2学習室)

■ 1月11日(日)

ステージ発表

10階多目的ホール

大宮男声合唱団(10:30～11:00)
いきいき歌謡クラブ(11:00～11:30)
洋彩の会(11:30～12:00)
ハイビスカスの会(12:45～13:15)

ワークショップ

9階

生涯学習コーディネート協会(10:30～12:30 展示会場)
さいたま中央地区更生保護女性会(10:30～12:30 第1学習室)
大宮つげの会(男女共生推進グループ)(10:30～12:30 第3学習室)

その他の参加団体

career cafe、グループ・メッセージ、さいたま市いけばな芸術協会、さいたま市ガールスカウト連絡協議会、さいたま市女性経営者クラブ、さいたま市母親大会実行委員会、女性団体ネットワークキング、フォーラム彩翔、藤のわ会、保育サポート マロンの会、ポトマック茶論、めんどり会議ふぁーすとすてっぷ



1月10日(土) 14:00~15:30

講演&トーク 「輝こう! 私らしく、あなたらしく」

講師 田部井 淳子さん、政伸さん夫妻(登山家)



田部井淳子さんは、『女子だけで海外遠征を』を合言葉に女子登攀クラブを設立し、1975年、女性で世界初の世界最高峰エベレスト登頂に成功した登山家です。

1992年には女性で世界初の7大陸最高峰登頂者となりました。現在も年7~8回海外登山に出かけ、現在56カ国の最高峰・最高地点を登頂しています。

田部井淳子さんの夫で同じく登山家の政伸さんも登場し、ご夫妻でトークを行いますので、どうぞお楽しみに!

※すべての催し物は入場無料です。事前の申込は必要ありません。託児もあります。詳細は、市報、ホームページでお知らせします。

1月11日(日) 13:30~15:30

映画上映会 「フラガール」

昭和40年、エネルギー革命により閉鎖が迫る炭鉱のまち。そこでは北国をハワイに変えようという起死回生のプロジェクトが持ち上がっていた。

目玉となるのはフラダンスショー。フラダンスを炭鉱娘に教えるため、東京からダンサー平山まどかが教師としてやってきた。最初は嫌々ながら教えるまどかだったが、生きるためにひたむきに踊る少女たちの姿に、忘れかけていた情熱を思い出してゆく。しかし、世間の風当たりは冷たく、教える相手は全くの素人。



果たして常夏の楽園は誕生するのか? オープンの日は迎えられるのか?

© 2006 BLACK DIAMONDS

お問合せ

男女共同参画推進センター(パートナーシップさいたま)
TEL.048-642-8107 FAX.048-643-5801

男女共同参画週間記念講演会

●香山リカさんの講演●

男女共同参画について全国的に啓発し、人々の理解を深めるために「男女共同参画週間」が毎年6月23日~29日に設けられています。パートナーシップさいたまでは6月14日(土)、生涯学習総合センター10階多目的ホールにおいて記念講演会を行いました。

講師は精神科医で立教大学教授、多数の著書があり、メディアにおいてもコメンテーターなどとして幅広く活躍されている香山リカさんをお招きしました。

「自分らしさってなんだろう? 一楽しい人生のための処方箋」と題した講演は大きな反響をいただき、訪れた約180名の方々は熱心に聞き入っていました。

「無理に背伸びをせず、今ある自分らしさを褒め、まずは今の自分に合格点を与えて、目に見える生活をエンジョイして生きていきましょう」という香山さんの熱いメッセージは、男女共同参画の礎となる人(女と男)にとって大きな励ましとなるお話でした。



▲香山リカさんの講演の様子

講演内容

最近、7~8人に1人が「うつ病」だと言われています。なぜこんなにうつが増えているのでしょうか。一つは、この現代社会のなんともいえない不安感・不信感の増大や諸々の悩みが引き金になっていること。そしてもう一つは、今日のテーマにつながることです。

男女雇用機会均等法が進み、国際的な活躍をする人も多いこの時代、充実した生活を送り、悩みも特にないの「何か、今の生活では自分らしくない」と感じる人がたくさんいます。でも何が自分らしい生活なのか分からず、思い悩むうちにだんだんとうつ病になってしまうのです。この傾向は、休みの日でさえ「勉強をして自分をもっと高めなければ」と考えるような、特にまじめに生きている女性に多いのですが、実はその人に明確なマイナス要因やストレスの原因があるわけでもありません。20年前にはなかった状況です。

大切なのは、「もうすでにある自分らしさ」と「人生を楽しむ権利」があることを確認することです。ちゃんとした生活を送っている自分を否定しすぎることはありません。

社会的に評価され、他人から輝いて見えないとダメだと思っている人が多いかもしれません。でも本当は、手が届く、目に見える生活が充実していることの方が素晴らしいのです。そして、今の自分に及第点をあげてください。褒めてからステップアップしましょう。今持っている自分らしさを手放さず、エンジョイして生きていきましょう。

第4回 「コミュニティの中での子育て ～孤立した子育てを越えて～」

講師:NPO法人彩の子ネットワーク 共同代表 鈴木玲子さん

彩の子ネットワークの「横並び型アクションリサーチ」という独特の手法による膨大なアンケート調査の結果から、若年・高年世代の考えが今の子育て世代とギャップがあることが明らかにされるなど、多くの興味深いお話がありました。

第5回 「わたしのしたいこと、できること ～グループづくり～」 第6回 「講座を終えて ～なかまづくりと学び続けること～」

講師:さいたま市男女共同参画推進センター

事業コーディネーター 加藤久美子

第5回で「講座前と後の私」、「今したいこと、できること」などをワークショップによって確認し、第6回では「今後も受講生がグループとして集まって活動し勉強したい」との思いから、自主学习グループ「わたあめの会」が立ち上がりました。



▲ 安藤さんの「おはなし会」に子どもたちは興味津々です(第3回)

受講生から

篠原 望さん(第1回)

天童先生の話が面白くて、色々コツまで教えて頂いて嬉しいです。日常生活でこんなにたくさんの方が自分の話に真剣に耳を傾けてくれることなんてないので、色々込み上げるものがありました。

細野貴子さん(第2回)

自分の心を見つめ直せる良い機会になりました。子どもができてできなかったことより、できるようになったことの方が多く書ける自分にビックリしました。仲間作りが大事なんだと思いました。

木島恵未さん(第6回)

今日、新しくグループができてわくわくしています(ここまでおせんだてしていただいて、やらないテはないですよ)。勉強する機会をこんなふうに得ることができるとは…。申し込みのハガキを出した頃の自分には想像もつきませんでした。

『幼児をもつ母親のための講座』を振り返って…



緑区のプラザイーストにある女・男プラザで、9月17日から10月22日に「幼児をもつ母親のための講座～もう1回、子どもと共にわたしも育つ～」を開催しました。子育てに不安を抱く方、子どもと自分の育て方について考えたい方などが集まり、全6回の連続講座を終えると、日々の悩みを話し合える受講生同士のなかまづくりもできました。

第1回 「子どもを預けて学ぶ意味」

講師:名城大学准教授 天童睦子さん

受講生は、一枚の紙の左半分に「今の自分」、右半分に「5～20年後の自分」を一言で表すという作業を行い、一人一人が子育てへの想いを語りました。また、講師からのさまざまな「子育てアドバイス」に受講生は耳を傾けていました。

第2回 「なぜ母親って大変なの？ ～子育てって、わたし育て～」

講師:あれあれあ 代表 新井純子さん

付箋紙に、子どもが生まれて「できなくなったこと」と「できるようになったこと」をどんどん書いてもらい、ホワイトボードに貼って発表しました。すると、同じような意見や、「できるようになったこと」が多く発表されました。

第3回 「いっしょに育てる いっしょに育つ ～家庭共育の時代 手がかりとしての絵本～」

講師:NPO法人ファザリングジャパン 代表 安藤哲也さん

「パパ力検定」生みの親の講師が「ファザリングの極意6カ条」、「父親が育児を楽しむために母親ができること」などを伝授しました。講義の後には託児室に移動し、講師による絵本の「おはなし会」に親子で参加しました。

NPO法人「生涯学習
コーディネーター協会」
代表 三浦 雅光

2008年度の活動では、「働きたい女性のための再就職支援プログラム」で「履歴書に書けるパソコン資格を取るろう」をキャッチフレーズに、さいたま市「市民企画講座」において「エクセル講座」を開催しました。その講座では、当協会の女性講師陣が働きたい女性のために活躍しました。



▲ 再就職支援のパソコン教室の様子です

ただいま活動中 NPO法人 「生涯学習コーディネーター協会」

パートナーシップさいたまで活動中の
男女共同参画グループを紹介します

平成18年1月、NPO法人を取得し、特定非営利活動法人生涯学習コーディネーター協会として活動を開始しました。当協会は、「夢づくり」を実現するために、仲間づくり・ために、仲間づくり・ために、仲間づくり・仕事を目的に活動しています。

仲間づくりでは、い

知る・意識するということ

*悩んだり決断を迫られたりした時

不安なことばかり思い浮かび、自分に納得いく方法が見つからず時間だけが過ぎていく…。そんな経験ありませんか？

そんな時、自分が持っていない新しい正しい知識・情報・手段を得ることで、人に言われたから仕方なく…ではなく、自信を持って自分の気持ちに沿った結論を導き出すことができるのかもしれませんが。

*人間関係について

上手くいかない・誰かといるだけで疲れる・傷つき感を持った・友だちが出来ない・いつも嫌な思いをする・人と話すのが苦手・言いたいことが伝えられない…などと感じていませんか？そして、上手くいかないのは自分に問題があると、自分自身を責めていませんか？

関わり方・受け止め方・考え方について、自分の癖に気づき意識することで、今までと違った関係が築けるかもしれません。人といふことを楽しめる自分になれるかもしれません。

知らずにいること・気付かずに意識しないことで、私たちは生きづらさを感じ悩み、大切な時間を費やし、随分損をしているのではないのでしょうか。友人だから・身近な人だからこそ話せない内容もあります。

相談室はあなたと一緒に悩み・気づき・情報提供しながら考えていく場所です。こんなことを相談するのは…などと思わず、気軽に電話してみてください。

(婦人相談員D)

12月1日(月)まで!!

第2次

さいたま市男女共同参画の まちづくりプラン(骨子案)

について、市民意見を募集しています。

平成21年度から取り組んでいく、第2次プランの骨子案について、市のパブリック・コメント制度に基づき、市民意見を募集しています。

資料の公表場所

市役所7階 男女共生推進課、パートナーシップさいたま、女・男プラザ、各区役所1階情報公開コーナー、各図書館など(市のホームページでもご覧になれます)

意見の提出方法

所定の用紙に住所、氏名、電話番号、骨子案に対する意見を記入し、直接、郵送、ファクス又はEメールで、12月1日(月)(消印有効)までに、〒330-9588 浦和区常盤6-4-4 男女共生推進課へ。

みんなの意見を
待ってるよ!



問合せ・意見提出先

さいたま市 男女共生推進課

電話:048-829-1231 FAX:048-829-1969

Eメール:danjo-kyosei@city.saitama.lg.jp

※お寄せいただいたご意見への個別の回答はいたしません。平成21年2月頃に、ご意見に対しての市の考え方をまとめ、公表する予定です。

Book Navi

情報・資料コーナーで貸し出している図書のご案内です。

『生き方』

稲盛和夫:著 2007年 <サンマーク出版>

私たちはいま、先行きの見えない「不安の時代」を生きている。こういう時代にもっと必要なのは、「人間は何のために生きているのか」という根本的な問いではないか。

『生き方』には人生の指針となる、揺るぎなきメッセージの数々が詰まっている。

- ・心に描いたものが実現するという宇宙の法則
- ・運命は自分の心次第という心理に気付く
- ・考え方のベクトルが人生すべての方向を決める
- ・ただいま、このときを必死懸命に生きる
- ・どんなときも「ありがとう」といえる心の準備
- ・人生の目的は心を高め、利他の心で生きる 等

二つの世界的大企業を創造した経営者、稲盛氏の人生哲学! 生きる喜びを見だし、充実した人生を送るためのヒントが得られる。

(安藤 ちか子)

『室町抄』

南條範夫:著 1984年 <講談社>

大学の経済学部の教授で、多数の小説を残している著者の歴史小説。その主人公は日野富子である。

浅学の筆者は、この歴史上の富子を室町時代の将軍、足利義政の正室で、公家や大名に金を貸した[金貸し]程度にしか理解していなかった。

この小説では、夫の義政や富子の子どもである足利義尚などの四人の男が語るオムニバス方式で、富子を描いている。

足利将軍家に『娘たち』を正室や側室として送り込んでいた三流公家の、その日野家の出の富子が、ねちねちとした陰謀と度重なる戦火の中で、したたかに逞しく生きる姿を、何度も家出?をする夫の将軍義政に「彼女の評判は、自分よりもよかった」と言わしめている。

泥沼のような時代に、懸命に咲いた花。そう見ると富子は素晴らしい女性だとして感じる事が出来る。この小説はじっくりと時間をかけて読んでみたい。

(飯塚 喜一郎)

施設のご案内

	パートナーシップ さいたま	ひとひと 女・男プラザ
場所	大宮区桜木町1-10-18 シーノ大宮 センタープラザ3階	緑区中尾1440-8 プラザイースト3階 <small>※浦和駅東口よりバス、「緑区役所入口」下車 又は東浦和駅よりバス、「プラザイースト南」下車</small>
開館 時間	平日 9:00~21:00 土・日・祝日 9:00~17:00	9:00~17:00
休館 日	第4日曜日、年末年始	月曜日、年末年始
施設の利用		
男女共同参画の推進を目的とする活動に、ご利用ください。 (パートナーシップさいたまの会議室・プレイルームと 女・男プラザの団体活動室は、利用登録が必要です。)		
情報・資料コーナー、交流コーナー		
本や雑誌、行政資料、ビデオなどがあります。 閲覧、貸出しができます。ちょっとした話し合いに利用 できる交流コーナーもあります。		
お問い合わせ	048-642-8107	048-875-9966

相談のご案内

● 女性の悩み電話相談

女性の生き方、夫婦、親子の問題、職場や近隣の人間関係などの相談に応じます。

パートナーシップさいたま	☎ 048-643-5813
月~金/10:00~20:00 土・日・祝/10:00~16:00	
ひとひと 女・男プラザ	☎ 048-875-9653
金/10:00~17:00	
浦和区役所 女性の相談室	☎ 048-829-6129
月・火・水・金/10:00~17:00	
中央区役所 女性の相談室	☎ 048-840-6132
月・水/10:00~17:00	
岩槻区役所 女性の相談室	☎ 048-790-0158
月・水/10:00~17:00	

● 法律相談(予約制) 女性の弁護士が相談に応じます。

パートナーシップさいたま	☎ 048-642-8107
第2・第4水曜日/13:00~15:30	
ひとひと 女・男プラザ	☎ 048-875-9966
第1・第3火曜日/13:00~15:30	

● 心の健康相談(予約制)

専門の女性の医師が相談に応じます。

パートナーシップさいたま	☎ 048-642-8107
第4火曜日/13:30~16:30	

◆相談は無料です。◆秘密は厳守します。

ほっとたいむ

長瀬の秋の七草寺めぐりをしてきました。秋の七草を二巡で観られるのは珍しいと思ひ参加したら、案の定一番期待した撫子は早くに咲き終り、萩、藤袴がチラホラ咲き始めて早すぎたかなあと思ひながら廻りました。女郎花は運よく満開、鮮やかな黄色の花が秋風に揺られて輝き、桔梗は多宝寺の境内で行儀よく咲き、遍照寺には菖の赤紫の花のトンネルがあり、そこをくると甘い香りが漂い、果樹園の中にある様な気分でした。ススキは一般的なエソススキの他に、スソスキ、鷹の羽ススキなど数種類の品種があることを知り興味深かった。

秋の七草は華やかではないが草花を観ながらの散策は心なごむ一日でした。ちなみに秋の七草は「おすきな服は？」と語呂合わせで覚えると便利です。(樋山睦子)

7月下旬に、市内図書館の図書館祭り、古本バザールがある。たまたま去年には「翔ぶが如く」(第1〜7巻)(司馬遼太郎)が入手できた。「翔ぶが如く」は明治維新がなって、西郷や大久保たちが草創期、どのように基礎を築いたかが記述されている。いま放映されているNHK大河ドラマ「篤姫」は、薩摩藩の島津分家の生まれでありながら江戸城の大奥に入り、徳川家の危機に直面した女性の物語である。ドラマの初回のころ、薩摩藩の日常では篤姫は、下級武士の西郷や大久保と面識があった。幕末、征東軍の実力者となった西郷と勝海舟とで江戸城の無血開城があった。それには、その陰に篤姫の、つまり女性の影響があったことが想像できる。(武藤勝美)

広報誌「鐘の音」のご感想、ご意見をお寄せください。郵便、FAX、E-mailでパートナーシップさいたままでお願いします。

《誌名「鐘の音」》

大宮の古い地名「鐘塚」に建てられた「パートナーシップさいたま」から、男女共同参画推進の鐘の音を響かせたい、その願いを込めて名づけました。

パートナーシップさいたま広報誌「鐘の音」vol.16 2008年11月25日発行
＜編集・発行＞

さいたま市男女共同参画推進センター パートナーシップさいたま
編集員/安藤ちか子・飯塚喜一郎・土屋多万緒・樋山睦子・武藤勝美
〒330-0854さいたま市大宮区桜木町1-10-18シーノ大宮センタープラザ3階
電話 048-642-8107 FAX 048-643-5801
E-mail: danjo-kyodo-sankaku@city.saitama.lg.jp
7・11・3月発行(年3回)

